

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：イチゴの土耕ベッドを利用したメロンの不耕起栽培技術			
〔要約〕イチゴの土耕ベッドを再利用した不耕起栽培では、後作にメロンの導入が可能である。3月下旬から4月中旬にイチゴを部分的に間引いてメロンを定植することで、6月下旬から7月中旬にかけて商品性の高い果実が得られる。			
キーワード [※] メロン、イチゴ後作、不耕起栽培、観光直売、品種選定			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター暖地園芸研究所野菜・花き研究室 協力機関 安房農業事務所		
実施期間	2010年度～2012年度		

〔目的及び背景〕

本県の南房総地域は、多くの観光客が早春のイチゴ狩りや花摘みを目的に訪れる一方で、夏季には魅力ある体験型農業や直売向け品目が少ない。このため、夏季の観光需要に対応できる新しい園芸品目の導入と安定生産が求められている。そこで、夏季の観光・直売向け品目としてメロンに着目し、イチゴの土耕ベッドを利用した不耕起栽培法の開発と適品種の選定を行い、メロンの簡易栽培体系を確立する。

〔成果内容〕

- イチゴの土耕ベッドを再利用したメロンの不耕起栽培では、3月下旬から4月中旬にイチゴを間引いてメロンを定植し、6月下旬から7月中旬に収穫する作型が可能である（図1）。
- メロンの株間は60～100cmとし、灌水は、イチゴ栽培用の灌水チューブをそのまま利用して行う。基肥として、化成肥料（8-8-8）を株元に1gずつ置肥する。生育後半は、ベッド内の残肥を吸収するため追肥は不要である。
- イチゴ後地での栽培には、「TLタカミ」（園芸植物育種研究所）、「肥後グリーン」（松井農園）、「レノン」（タキイ種苗）等、大果・高糖度系の品種が適する。仕立て方は、親づる1本仕立ての2果収穫とすることで、商品性の高い果実が安定的に収穫できる（表1、表2）。
- 「肥後グリーン」及び「TLタカミ」は、食味や購買意欲について観光客の評価が高く、夏季の観光・直売用途に適する（表3）。

〔留意事項〕

本作型における病害虫の発生は軽微であるが、イチゴにハダニが発生している時はメロンへも拡がる場合があるため、定植前に集中して防除する。イチゴとメロンの混植中は、両作物に登録・適応のある農薬のみが使用でき、収穫前日数に十分留意する。イチ

ゴの株は5月中旬頃に抜きとって、圃場外へ持ちだし処分する。

[普及対象地域]

県内全域のイチゴ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

平成25年4月現在、南房総地域では5戸のイチゴ生産者がメロン生産に取り組んでおり、生産量は年々増加している。このうち4戸は直売向け生産で、1戸はメロン狩りを実施している。

[成果の概要]

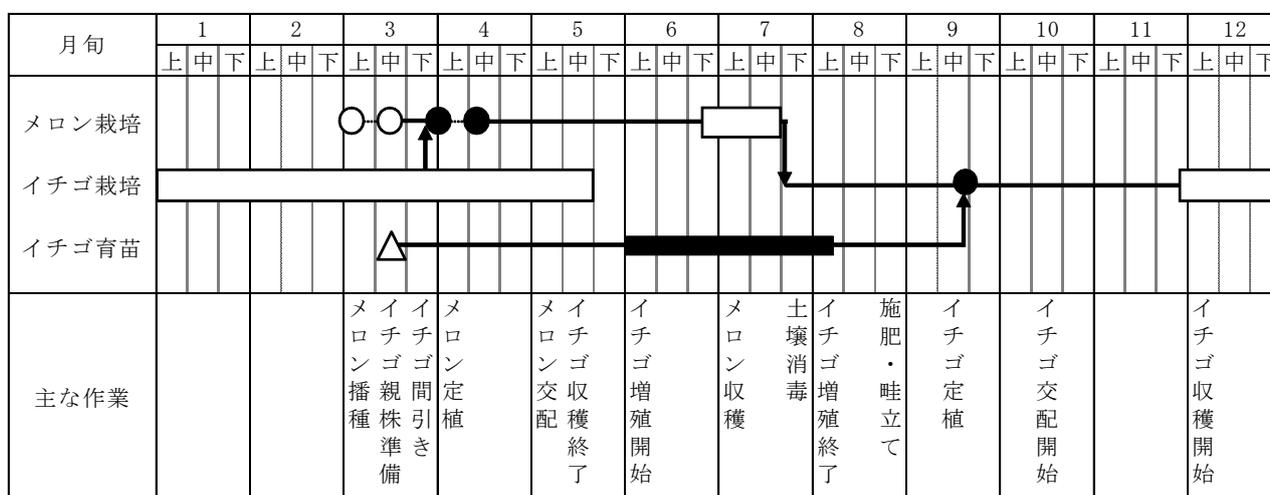


図1 土耕ベッドにおけるイチゴとメロンの輪作体系

注) ○: 播種、●: 定植、□: 収穫、
△: イチゴ親株植付け、■: イチゴ増殖を示す

表1 イチゴ後地メロン栽培における収量、果実特性等

年度及び試験地	品種	果実の特徴	定植日	収穫日 ¹⁾	1果重 ¹⁾ (g)	収量 (t/10a)	外観 ²⁾	糖度 ¹⁾ (Brix)	食味 ^{1),3)}	総合評価 ²⁾
H22 ⁴⁾	TLタカミ	緑皮・緑肉	4月13日	7月15日	2,562	6.6	○	14.3	3.3	○
研究所内	グラデーション	白皮・緑赤肉	4月13日	7月16日	2,123	5.4	○	15.4	3.2	○
H23 ⁴⁾	TLタカミ	緑皮・緑肉	3月30日	7月7日	2,138	5.5	○	15.9	3.8	◎
研究所内	グラデーション	白皮・緑赤肉	3月30日	7月6日	2,463	6.3	○	14.3	3.5	○
	肥後グリーン	緑皮・緑肉	3月30日	7月11日	2,272	5.8	△	17.0	4.1	◎
	タカミレッド	緑皮・赤肉	3月30日	7月4日	1,963	5.0	○	14.5	3.3	○
H24 ⁴⁾	TLタカミ	緑皮・緑肉	4月12日	7月12日	1,514	3.9	○	16.1	3.9	○
研究所内	グラデーション	白皮・緑赤肉	4月12日	7月17日	1,461	3.7	○	15.3	3.8	○
	肥後グリーン	緑皮・緑肉	4月12日	7月13日	1,756	4.5	△	15.9	4.0	○
	レノン	淡緑皮・赤肉	4月12日	7月14日	1,978	5.1	◎	15.6	4.1	◎
H25 ⁵⁾	TLタカミ	緑皮・緑肉	3月28日	7月3日	1,765	2.6	○	15.3	3.8	○
現地	グラデーション	白皮・緑赤肉	3月28日	7月13日	1,761	2.6	○	14.0	3.1	○
(館山市)	肥後グリーン	緑皮・緑肉	3月28日	7月10日	2,036	3.0	△	15.6	3.6	○
	レノン	淡緑皮・赤肉	3月28日	7月16日	2,008	2.9	◎	14.5	3.4	○

注1) 調査果の平均値を示す

2) 外観及び総合評価は、◎: 特に優れる、○: 優れる、△: やや劣るとした

3) 食味は、優れる(5)~劣る(1)として評価した

4) 親づる1本仕立て2果収穫、株間60cm、収穫果数2,560個/10a

5) 親づる1本仕立て2果収穫、株間96cm、収穫果数1,466個/10a

表2 イチゴ後地メロン栽培における仕立て方の違いが収量、果実品質に及ぼす影響¹⁾

品種	仕立て方	収穫日 ²⁾	1果重 ²⁾ (g)	収量 (t/10a)	外観 ³⁾	糖度 ²⁾ (Brix)	食味 ^{2),4)}	総合評価 ³⁾
グラデーション	親づる1本・2果収穫 ⁵⁾	7月17日	1,461	3.7	○	15.3	3.8	○
	子づる2本・4果収穫 ⁶⁾	7月23日	1,443	5.5	○	13.1	2.8	△
肥後グリーン	親づる1本・2果収穫	7月13日	1,756	4.5	△	15.9	4.0	○
	子づる2本・4果収穫	7月26日	2,019	7.8	△	15.6	3.6	○
レノン	親づる1本・2果収穫	7月14日	1,978	5.1	◎	15.6	4.1	◎
	子づる2本・4果収穫	7月25日	1,178	4.5	◎	12.8	2.6	×

注1) 平成24年度に研究所内で試験を実施、4月12日定植

2) 調査果の平均値を示す

3) 外観及び総合評価は、◎：特に優れる、○：優れる、△：やや劣る、×：劣るとした

4) 食味は、優れる(5)～劣る(1)として評価した

5) 株間60cm、収穫果数2,560個/10a

6) 株間80cm、収穫果数3,840個/10a

表3 イチゴ後地で栽培したメロンの外観、食味等に関する観光客向けアンケートの集計結果

項目	品種						評価方法
	肥後 グリーン	グラデ ーション	TLカミ	初夏の クインシー	カミ レット	黄美香	
外観(色、形、ネット等)	3.6	3.5	3.9	3.8	3.8	3.0	5:好き ~1:嫌い
果肉色	3.9	3.8	3.8	3.9	3.9	3.2	5:好き ~1:嫌い
甘さ	4.0	3.5	4.0	3.0	3.3	3.4	5:甘い ~1:甘くない
香り	3.5	3.4	3.7	2.9	3.1	3.4	5:好き ~1:嫌い
食味(総合的に)	3.9	3.5	3.9	3.0	3.3	3.3	5:おいしい ~1:まずい
珍しさ	3.0	3.4	3.0	2.9	3.0	3.3	5:珍しい ~1:一般的
購買意欲(1玉1,000円として)	3.5	3.1	3.5	2.6	2.9	2.8	5:買いたい ~1:買いたくない

注) 南房総市内の道の駅で実施、有効回答数は149、調査日は平成23年7月18日(海の日)

[発表及び関連文献]

- 1 平成25年度試験研究成果発表会(野菜部門)
- 2 イチゴ栽培後のベッドを利用した観光・直売向けメロン生産、施設と園芸、152号、2011年

[その他]

プロジェクト研究「南房総地域における観光・直売に適した品目・品種の選定と栽培技術の確立」(平成22~24年度)